

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	24100	家畜防疫対策事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	畜産班
基本施策				1	1	農水産業の振興	根拠法令	旭市補助金等交付規則等	6	1	4	☒ 主な事業		
施策の展開				1	1	農畜産物の生産振興	戦略事業	6	6			☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開							戦略事業					☐ 新市建設計画		
												☐ 定住自立圏構想		
												☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない			
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	近年、畜産経営では、飼養規模の拡大が進行する中、さまざまな家畜伝染病の発生が危惧され、衛生管理の強化が重要となっている。 このような畜産環境の中、家畜伝染病の予防接種や検査を実施した事業者に対し補助金を交付し、家畜伝染病の発生及び蔓延を未然に防止し、経営の安定を図る。			
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化			
家畜伝染病の発生及び蔓延を防止して畜産経営の安定化を図るべく始まった。	豚オーエスキー病については、旭市及び近隣市町は、依然として清浄化が達成されていないので、ワクチンの接種は必要不可欠である。(全国12の県で清浄化されてなく、うち8県が関東。千葉県内では、ほとんどの市町村で清浄化が確認されているが、旭市及び近隣市町は、清浄化がなされていない。)			
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
		畜産農家から、「ワクチン接種や検査に補助がでることで、負担が軽減できている。今後も予防接種や検査を実施するにあたり、事業を続けていってほしい」という声がある。		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算)		単位: 千円	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)
1. 牛の結核・ブセリ病・ヨーネ病検査	63補助率1/2 (670円/頭)	千円	1,010	3	1	6	1,427
2. 牛の7かハネ病予防接種	204補助率1/10 (生ワクチン 140.3円、3種混合ワクチン 157.8円)	千円	197	188	192	204	205
3. 豚のオーエスキー病予防接種	25,438補助率29.1円	千円	23,815	23,915	24,427	25,438	25,500
4. 鶏伝染病予防接種	3,038補助率0.73円	千円	2,452	3,159	4,064	3,038	2,000
		千円					
② 特定財源の内訳 (27年度の決算)		単位: 千円	事業費計 (A)				
1. 国庫支出金	0	千円	27,474	27,265	28,684	28,686	29,132
2. 都道府県支出金	0	千円					
3. 地方債	0	千円					
4. その他	0	千円					
		千円	27,474	27,265	28,684	28,686	29,132

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数 常時 1人 最大 3人 × 80日 = 延べ 240人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

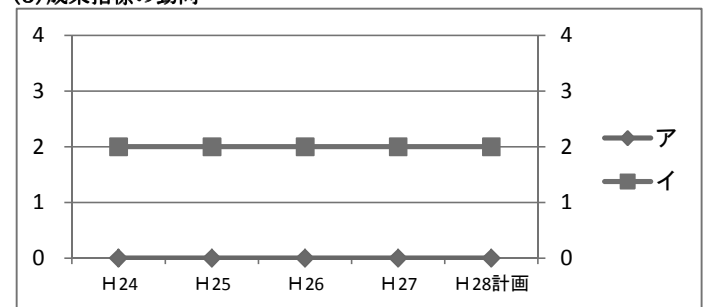
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	27年度実績 (27年度に行った主な活動) 家畜伝染病の発生及び蔓延を未然に防止するためのワクチン接種及び検査		ア ワクチン及び検査を行った家畜の総頭羽数	頭・羽	4,921,443	4,985,911	5,281,237	5,037,001	2,854,484
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	対象意図 畜産農家 (牛・豚・鶏・うずら) 家畜の疾病発病を未然に防ぎ畜産経営者への被害を回避する。 対象意図		ア 関係する伝染病が蔓延した畜舎数	戸	0	0	0	0	0
			イ オーエスキー地域清浄化レベル (ステータスⅡは、ワクチン接種を推進し、清浄性が確認できれば順次接種を中止していく段階)	ステータス	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥		(8)	
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	数値増=成果向上	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)			☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	成果動向 ア 0 イ 0
	③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()